

## 2010長崎をふり返る



2010年は、長崎がクローズアップされた1年でした。

なんといっても長崎出身の福山雅治が主演を務めた龍馬伝の影響は大きく、亀山社中をはじめとして、長崎各地の龍馬ゆかりの場所が賑わいました。自分たちの住む長崎でかつて繰り広げられたドラマに熱中し、あらためて興味を持って坂本龍馬や幕末に目を向けた方も多いのではないのでしょうか。

また、長崎出身の作家・吉田修一の存在も見逃せません。今年は長崎・佐賀・福岡の3県を舞台にした小説『悪人』が映画化されて話題になり、図書館でも、予約数が再びランキングの上位に食い込むほどの勢いでした。小説の中で交わされる馴染みのある方言や、映像の中のなんとなく見たことがあるような風景に、親近感を覚えた方も大勢いらっしゃることでしょう。以前にも彼の作品では、長崎を舞台にした『7月24日通り』が「7月24日通りのクリスマス」として2006年に映画化されています。長崎を愛する彼によって、この先どのような小説が生まれ、また映画化されるのか、とても楽しみです。

こうして長崎が注目されると、自分たちが知らなかった一面を発見したり、新鮮さを感じたりする機会が増えます。2011年も、新たな長崎に出合える年であってほしいですし、図書館にもその出会いの手助けができればと思います。

### 「7月24日通り」



吉田 修一/著  
新潮社  
F913.6 ヨシ

普通の女には、平凡な未来しかないのかな? でも、一度くらいはドラマみたいな恋をしてみたい。吉田修一がおくる長編ラブストーリー。

### 「パレード」



吉田 修一/著  
幻冬舎  
F913.6 ヨシ

いつの時代も現実には厳しい! 素顔のままでは生きにくい。でも相応しい自分を演じれば、そこは誰もが入れる天国になる。

### 「福山雅治 坂本龍馬写真集」



三浦 憲治・内田 将二/撮影  
講談社 H778.8 ミ

時代を超えたヒーローの共演! 「龍馬伝」で坂本龍馬を演じた福山雅治の写真集。通常見ることのできない舞台裏、ロケ現場にも密着。

## 12月 December

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

## 1月 January

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

毎週**火曜日**は  
休館日です。

**12/28(火)~1/4(火)**  
は年末年始のため休館します。



じゃあ、読もう。

# 長崎市立図書館 秋の2大講座

今年も、毎年恒例・大好評の2大講座「文学講座」「長崎学講座」を開催しました！

## 長崎市立図書館 第2回 文学講座

第1回 ゲーテ『野薔薇』『魔王』『糸を紡ぐグレートヒェン』

第2回 ミュラー『冬の旅』

## 「ドイツ語の詩とドイツ歌曲 -シューベルトを例に-」



講師：池田 紘一 氏

10月25日、11月28日に文学講座を開催しました。今年も長崎外国語大学学長・池田紘一氏をお招きし、ドイツ語の詩と歌曲について講話をして頂きました。参加者の年齢層も幅広く、どの方も池田氏の熱意溢れるお話に聴き入っているのが印象的でした。耳慣れないドイツ語の詩をじっくり解説していただき「ドイツ語がよくわからない」という方でも楽しく聴けるお話でした。昨年同様、終始笑いの絶えない講座となり、「楽しかった！来年も池田先生に来てほしい！」と大好評でした。



## 長崎市立図書館 第3回 長崎学講座

## 「龍馬伝と亀山焼」

11月3日、第3回となる長崎学講座を開催しました。講師は長崎ではおなじみの越中哲也氏。「龍馬伝と亀山焼」と題し、「亀山という地名」「龍馬と長崎」「亀山焼」について解説して頂きました。「亀山焼」のお話では、越中氏が実際に焼き物の器を手にとりて見せたり、参加者に質問を投げかけ会話をしたりと、全員と一緒に学ぶことができた講座となりました。最後に、長崎の名所の昔と今をスライドで振り返り、懐かしい長崎の風景を楽しむこともでき、とても充実した講座となりました。



講師：越中 哲也 氏



図書館からあなたへ！

今月のテーマ

THANK YOU

# ブック・ボタン

# 感謝

このコーナーは毎月ひとつのテーマをもとに2名の図書館員がおすすめの本を紹介するコーナーです。

## 「ありがとう」のきもちを表そう

あなたは1日に何度「ありがとう」と思いますか？

『ベッキーの心のとびら』の著者は芸能界で活躍しているタレントのベッキーさんです。ベッキーさんは、毎日の出来事やお世話になっている方々へ感謝するという“感謝の時間”を眠る前の日課にしているそうです。美しい写真とシンプルな言葉。斬新ではなくシンプルだから、考えが伝わってきます。「タレント本でしょ？」と思わず、ぜひ手にとって欲しい一冊です。

感謝の気持ちがわいたら、一人で噛みしめるのもいいですが、相手に伝えられると もっと素敵ですよ。言葉で伝えるのが苦手な方も、メッセージカードを使ってみてはいかがでしょう。『シンプルでかわいい手作りカード』には、5人のクリエイターによる魅力的なアイデアが満載の本です。その中でも特に木下綾乃さんのデザインがおすすめ。木下さんの『手紙を書きたくなったら』など手紙をテーマにした著書は、筆不精な人もちょっと書いてみようかなという気にさせてくれます。

年末年始は、お世話になっている方に会うことが多くなる時期です。この機会に、あなたの「感謝のきもち」を伝えてみてはいかがでしょう。

(司書 N)

## いまあることに「感謝」

師走となりました。この頃になるとこの一年の出来事をニュースで取り上げますが、自分自身はこれといって特別なこともない平凡な一年だったなと思ったりします。

しかし、案外何もないことが幸せなことと感謝しなければならないのかもしれない。いまある日常の中で小さな幸せを見だし、良いことにも悪いことにも感謝できる人の人生はとても豊かなものでしょう。そのようなことに気づかせてくれる二冊の本を紹介します。どちらも短くて簡単に読める本です。

1冊目は『命の授業』。著者は中学校の体育教師でした。スキートの転倒事故で首の骨を折り「一生寝たきりか車いす」の宣告を受け、絶望のあまり自殺をはかります。しかし、周囲の人たちの励ましで「今のすべてを受け入れ、そのすべてに自分が責任を負い、すべてに感謝する」ことを信条として奇跡的な回復をし、教師として復帰した体験記です。本中の一文には「当たり前」だと思っていたことに、「幸せ」と「感謝」を見つけました…とあります。

2冊目は『いのちをいただく』。食肉センターの坂本さんの仕事を中心に児童向けに書かれた本ですが、初めてこの本を読んだ時、私は少なからず衝撃を受けました。それと同時に感謝なしにご飯を食べることはできないことだと実感しました。大人の方にも是非読んでいただき、人が生きるということは、命を頂くこと。殺すこと。私たちの命は、多くの命に支えられていることを感じて欲しいと思います。

(司書 U)



『ベッキーの心のとびら』  
ベッキー/著  
幻冬舎  
H779.9 べ



『シンプルでかわいい  
手作りカード』  
渥美 友理/著  
大泉書店  
H754.9 シ



『命の授業』  
腰塚 勇人/著  
ダイヤモンド社  
289.1 コ(2階一般)



『いのちをいただく』  
内田 美智子/著  
西日本新聞社  
648 ウ(児童)



# 寄贈紹介

2010年も  
たくさんの寄贈を  
ありがとうございました！



青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和56年に3,484冊(300万円相当)の図書で文庫を創設されました。

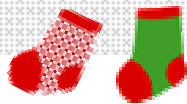
その後も毎年寄贈していただき、今年も68冊(10万円相当)の図書をご寄贈いただきました。これまでにいただいた図書は6,767冊になります。ありがとうございました。

長崎しにせ会は創立50周年記念事業の一つとして、平成21年3月296冊(150万円相当)の図書により文庫を設立されました。長崎の青少年をはじめ、多くの人に幅広く世界に通用する大きな器の人間をめざし、物事の本質を考え抜く人間になっていただきたいという趣旨で、仕事に役立つ歴史・古典など先人の世間知、人間知、人生知を知るための図書が揃っています。

今年度も引き続き31冊(5万円相当)の図書を寄贈していただきました。ありがとうございました。

## 年末年始に関するお知らせ

12月28日(火)～1月4日(火)は年末年始の休館期間となります。これに伴い、12月15日(水)～12月27日(月)に貸出される資料の貸出期間を3週間に変更します。休館中の返却は、返却ポストをご利用下さい。ただし、DVD・CD・紙芝居は壊れやすいので、返却ポストには入れず、開館時に返却カウンターへお返し下さい。公民館、ふれあいセンターの図書室の休館日は、直接各館にお尋ね下さい。



## 図書館ラジオ

## 11月のテーマは「青春と音楽♪」

毎月第2金曜日午後2時から、長崎シティFM(81.3MHz)「ウィーパラ ライブラリー」で放送中

### 11月の紹介本



### 『船に乗れ! I~III』

藤谷 治/著 ジャイブ

津島サトルはチェロを学ぶ高校音楽科1年生。伊藤慧との友情、南枝里子への恋。そして夏合宿、市民オケでの初舞台、オーケストラ発表会と、月日は慌しく過ぎていき…。青春音楽小説。

(Y913.6 フジ)

## 予約ランキング BEST 10♪

順位	タイトル	著者	出版社	予約数
1	夜行観覧車	湊 かなえ	双葉社	374
2	プラチナデータ	東野 圭吾	幻冬舎	325
3	小暮写真館	宮部 みゆき	講談社	260
4	往復書簡	湊 かなえ	幻冬舎	248
5	母	姜 尚中	集英社	202
6	あんじゅう	宮部 みゆき	中央公論新社	182
7	白銀ジャック	東野 圭吾	実業之日本社	181
8	1Q84 BOOK3	村上 春樹	新潮社	174
9	もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら	岩崎 夏海	ダイヤモンド社	156
10	天地明察	沖方 丁	角川書店	151



※予約数は11月15日現在のものです。

※予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。ご了承下さい。

